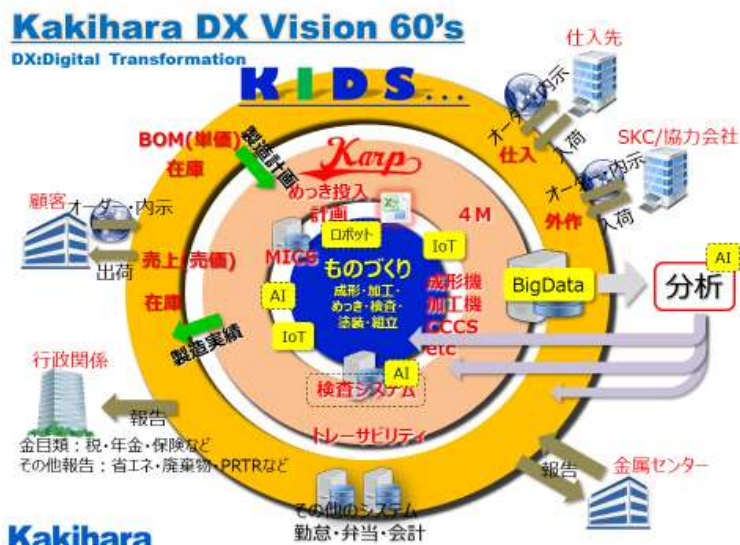


総務課のDXの取り組みについて

現在 総務課では、

K I D Sの中での売り上げ・請求・入金処理行う販売管理、出勤打刻から就業時間集計までを行う勤怠管理、各人の弁当注文から受取集計までを行うKaBOSなどのシステムを社内にて運用しています。

また、社外とは以下のシステムを使って行政、金融機関等とインターネットを介して各種申告・申請・送金等を行っています。



e-Taxとは、以下のような国税に関する各種の手續について、インターネット等を利用して電子的に手續が行えるシステムです。

現在は、毎月消費税の申告をe-Taxで行っています。

また、税理士事務所より法人税等の申告もe-Taxで行っています。
納税証明書の請求もe-Taxで行っています。

e-Govは、役所周りで必要な手続きを行うことがその利用のメインの目的となりますが、これ以外にも法令検索という機能があり、各種法律、政令等の条文を検索する機能などもあります。e-Govは電子証明（有料）が必要となりますが、GビズIDは電子証明の必要がありませんのでこちらを利用しています。

現在、社会保険（日本年金機構）取得・喪失等の手続き、雇用保険の被保険者資格取得届や被保険者資格喪失届で今後は健康保険の手続きもGビズで行っていきます。その他にも経済産業省・中小企業庁・中小機構などの補助金申請にも利用できます。

現在広島銀行と三菱UFJ銀行の2行とインターネットバンクの契約を結んでいましてそれぞれ銀行ごとに名称がついています。

どちらの銀行も口座照会（残高・入出金）、振込・振替、総合振込のサービス内容はほぼ同じです。

2行で使い分けしている機能は、でんさいサービス（電子手形）は広島銀行のネットバンキングを利用しています。現在では受取のみとなっていますが今後手形発行が廃止されますので発行についてもでんさいに変更していきます。外貨（仕向送金・被仕向送金）については三菱UFJ銀行を利用しています。





現在使っている会計ソフト。

社内で日々発生する取引の仕分けを入力しています。

毎月、売掛残高・銀行預金残高照合など財務状況の把握します。

また、このソフトは会計事務所と繋がっていますので双方での確認作業ができ月次決算の時間も短くなっています。

今後は、振込（入金・出金）のデーター取り込みを検討していきます。

勤怠管理システムの 更新（クラウド化）へ

就業管理サーバの保守切れに伴い勤怠管理のクラウド化を行います。

勤怠管理は、現在各人が出退勤時に打刻したものを総務課で一括管理をしていますがクラウド化により部署管理・セルフマネジメントへ移行していきます。

出退勤の入力は今までどおりタイムカードでの打刻となります。

クラウド化によりパソコン・スマホ等で自身の勤務状況が把握できます。

- ・セルフマネジメント
打ち忘れ確認、
長時間残業等のアラート
- ・危機管理（法令順守）
36協定チェック機能
過重労働時間管理
出勤者把握（災害時）
- ・勤怠に関する申請・承認のデジタル
ワークフロー機能により個人 → 所属長 → 総務 人事 最大 5 段階
欠勤届・タイムカード打ち忘れ
早出・残業・休日出勤



2022年1月26日よりの本番稼働を予定しています。

さらには、明細書を電子化も検討していきます。